

千葉信用金庫



当金庫は、中小企業の皆様や個人のお客様の繁栄に向け、良質な金融サービスを提供するとともに、地域社会の一員として、皆様との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的に発展に努めております

会社名	千葉信用金庫
事務所	千葉信用金庫 〒260-0013 千葉市中央区中央 2-4-1 (電話) 043-225-1111 (代)
代表者	理事長 宮澤 英男 (みやざわ ひでお)
設立	1924年6月4日
出資金	187億円
職員数	821名 (2019年3月31日時点)
事業内容	信用金庫法に基づく預金・融資・為替、その他付随業務

テーマ：金融・信用金庫について知る

1. 金融機関の役割

さっそくですが、経済における金融機関の役割について、政府・行政、企業、家計（個人）の視点で考えてみます。

まず、私を例に家計の面から考えてみま

しょう。私は、千葉信用金庫という企業に勤めており、労働力を提供しています。そして、その労働の対価として給料（賃金）をもらい、その給料で必要な物を買ったり、サービスを受けたりしています。

また、働いて得た収入の一部を納税しています。税金を納めたことによって何を対価として得るかということ、公共事業や公共サービス受けられたりするという関係になります。

では、企業の面です。企業活動で得た収入の一部も税金として政府・行政に収めています。その対価として、同様に公共事業や公共サービスを受けています。

今までの説明の中で、政府・行政、企業、家計（個人）で共通するもの（字）は何だと思いますか？それは、「お金」です。

『「お金」の流れ』は、体の中を流れている血流に例えられることがあります。

人間の体内を流れている血めぐりが悪くなると、体調に支障をきたし、大病につながる恐れがあります。万が一、血流が止まってしまったら大変なことになるわけです。

血流と同様に、お金の流れをスムーズにするとか、流れが悪くなっているのを改善をするという役割が金融機関にはあるのです。言い換えると、金融機関は、お金の流れを良くするための医者さんの役割を担っているというわけです。

金融機関のなかでも信用金庫は、町医者や掛かりつけの医者というイメージです。

お金のめぐりを良くするために経営改善の提案や、融資によって資金繰りを円滑にすることが、金融機関の役割となっています。

2-1. 金融機関の基本的機能

その①金融の仲介

金融機関は大きく三つの役割を持っていると言われています。

まず1つ目は、金融の仲介という機能です。「仲介」とは両者の間に立って物事をまとめるという意味です。

一人暮らしをされている方は、アパート

やマンションを借りるとき不動産屋さんに相談に行きませんでしたか？

不動産の仲介を例に挙げると、土地や建物のオーナーが、貸したいとか、売りたいといった場合、不動産屋さんに依頼し、その不動産屋さんが借り手となるユーザーや購入者の間に立って商談をするというものです。

ですから、金融の仲介機能は、「お金」の借り手と貸し手の仲介をするという意味になります。

例えば、預金をしたい人は「お金」を金融機関に預けます。預金を引き出す場合は、預けた「お金」の元金と預け入れた期間分の利息を受け取ります。

一方、「お金」を借りたい人は、金融機関から融資を受けることになるわけですが、借りた「お金」を返済する場合、元金と利息を返します。

このように、「お金を預けたい人」と「お金を借りたい人」の間に立って仲介しているのが金融機関ということになります。

また、金融機関を通じて間接的にお金の融通を受けているので、間接金融といいます。間接金融に対し直接金融もあります。これは、国や企業が資金を必要とするときに、金融機関を介さずに公債や株式・社債などを発行し、証券市場を通じて直接貸し手から資金を調達する方法です。

2-2. 金融機関の基本的機能

その②信用の創造

金融機関の基本的機能その②です。これは「信用の創造」という機能です。「信用の創造」とは、金融機関が預かった資金を

元にして、貸し出しを連鎖的に繰り返すことで、お金（預金通貨）が増えていく仕組みの事です。先程、「金融の仲介機能」で説明した際、預金者と貸し出しを受ける方の間に金融機関がいましたが、それを前提に考えます。まず預金者Aさん・Bさん・Cさんがいたとします。Aさん 500 万、Bさん 300 万、Cさん 200 万がそれぞれ預金しました。合計で 1,000 万円です。

金融機関は 1,000 万円を預かったとしても、全て貸し出しにまわしてしまうと、預金を下ろしに来た方へ対応できなくなってしまいます。そのため、支払いに備え一定割合（支払準備率）のお金を残して貸し出しに回します。これを支払準備金といいます。ここでは、解りやすく支払準備率を 10%とします。

すると今回の例では 900 万円が貸し出しにまわせるということです。ここで、Dさんが、機械を買うので 900 万円の借入を金融機関に相談に来ました。いかがですか？金融機関としては、支払準備率を 10%としているので 900 万をDさんに貸し出します。この貸し出した 900 万円は、金融機関の預金残高としていったんは残ります。今度はEさんです。お店を開店したいので 810 万円借り入れたいと相談に来ました。10%を残して 810 万円の貸し出しが可能となります。即ち、金融機関の口座残高は 1,000 万円+900 万円+810 万円で、全部で 2,710 万円となります。つまり、最初に預かった 1,000 万円よりも、お金（預金通貨）は、どんどん増えていく、これが、「信用の創造」という機能です。

2-3. 金融機関の基本的機能

その③資金の決済

続いて金融機関の基本的機能③です。これは、「資金の決済」という機能で、クレジットや公共料金等の支払いを預金口座から引き落とし、または自動送金などで行う機能を言います。決済とは、お金の貸し借りの決まりをつけることです。例えば皆さんが日頃から利用しているスマートフォンにしましょう。1ヶ月分の利用料金は、本来であれば、請求書と現金を持参して支払うこととなりますが、口座振替を利用していれば、支払日に預金口座から代金を自動で引き落として支払ってくれます。（預金残高がある事が前提となります）。これが「資金の決済」です。このように金融機関には大きく 3つの機能があります。

4. 金融機関の存在意義について

金融機関の存在意義について考えてみると、以下の3つの項目が挙げられるのではないのでしょうか？

まず1つ目は、「社会的なニーズを満足させる」というものです。企業は社会的な必要性があって存在します。金融機関を例にとると、給料は銀行口座に振り込まれるケースがほとんどでしょう。公共料金の支払いも金融機関を通して行われています。金融機関に預金して貯蓄する、マイホームを購入する場合には住宅ローンを利用するでしょう。このように金融機関は様々な場面でお客様のお金を決済するサービスや必要資金を提供しています。

2つ目は「文化を創り出す」ということです。企業が扱う商品やサービスの提供は、私たちの生活スタイルを変えることがあります。

皆さんもキャッシュレス決済などを利用していると思います。これまでは、現金決済が主流でしたが、現金を取り出さずに支払いが完了してしまう、つまり技術と時代背景を通じて金融側面における文化を創造しているということです。

3つ目は、「地域に貢献する」ということです。我々地域金融機関は、地域のお客様との関係の上に存在価値を成り立たせています。なかでも信用金庫は地域とより密接な関係にあり、金融サービスを通じて「地域に貢献する」ことは重要な使命となっています。

5. 協同組織金融機関について

皆さんも日ごろ金融機関を利用されていると思いますが、金融機関といっても幅広く、日本銀行（中央銀行）や政府系の金融機関、民間の金融機関や証券会社、保険会社、リース会社などがあります。

金融機関というと、一般の方を対象に預貯金を取り扱う民間の金融機関をイメージする方が多いと思います。民間の金融機関も、協同組織と株式会社の2つに分かれており、株式会社には普通銀行の都市銀行・地方銀行・第2地方銀行・新興銀行などがあります。新興銀行とは、いわゆるネット系のような金融機関を指します。あとは信託銀行や、ゆうちょ銀行も株式会社の銀行となります。では、信用金庫はどこになるかという、協同組織という形態にな

ります。さらに、協同組織は、3つのジャンルに分かれます。それは、中小企業専門、農林漁業系、それから労働組合系です。中小企業専門には、信用金庫と信用組合があります。農林漁業系には、農林中央銀行・農業協同組合・漁業協同組合などがあります。さらに労働組合系には、労働金庫があります。これらが協同組織の金融機関です。では、協同組織について説明します。それは、「相互扶助を基本として、営利を直接の目的としない法人で、会員である中小工商业者、農林漁業者への資金提供をする」ことが特徴です。相互扶助とは、お互いに助け合い、支え合っている関係であり、利益は第一義の目的ではないということです。

6. 信用金庫と銀行の違い

次に、銀行と信用金庫の違いです。まず、組織の形態が異なります。株式会社の銀行に対し、信用金庫は会員の出資による協同組織です。ここでいう会員とは、主な取引相手ということになります。会員資格（取引対象）は、①地区内に住所または居所を置き、従業員が300人以下、または資本金9億円以下の中小企業、②地区内に住所を置く個人、③地区内の企業で働く個人となります。地区内と記載されているのは、信用金庫の場合、営業するエリアが限定されているからです。営業エリアの中で、資金を預かり、そこでお金を必要とする方々に貸し出しをするのが原則となります。営業エリア内には、個人の方もいれば企業もありますが、その企業の規模は中小企業の規模ということに限られています。日本の企

業における中小企業の割合は 99.8%ともいわれており、日本経済を支えているといっても過言ではありません。その中小企業を支援し、中堅・大企業へと育てていくのが信用金庫の重要な役割です。

次に預金の取り扱いです。預金は銀行と同様、受け入れ対象に制限はありません。しかし、融資は銀行と異なり、原則、会員の方に限ります。これは、地域で集まったお金は、地域の中でお金を必要とする方々に貸し出しをするという役割があるためです。食に関して地産地消という言葉を目にするとと思いますが、信用金庫は地域で集まったお金を地域の中に融資によって還元するという、「お金の地産地消」を行っているのも特徴です。

7. 千葉信用金庫について

では、当金庫の概要を説明します。設立は大正 13 年 6 月 4 日で、あと 5 年で 100 周年を迎える企業です。我々信用金庫が誕生する以前は、商工業者の方々が商売上でお金が必要になった時、どのように調達していたかという、物を質に入れたり、高利貸しからお金を借りたりしていたといわれています。その頃の銀行は、財閥系の会社が取引相手でした。そこで、地元で商いをしている方や名士の方々が発起人となり、「この地域に我々のための金融機関を作ろう」と誕生したのが、信用金庫の前身になります。

現在、全国には 257 の信用金庫があり、千葉県内には 5 つあります。そのなかで当金庫の預金残高は 1 兆円を超えており、千葉県内で最も大きい規模となっています。皆さんが利用している金融機関と比べて

規模が小さいと感じるかもしれませんが、先ほど述べた通り、信用金庫は営業地域に限られているので、その地域の中で 1 兆円を超える預金をお預かりしているということになるわけで、全国にみても当金庫は大規模な信用金庫に位置づけられています。職員数は 821 名で（2019 年 3 月末）、様々な業務に従事しています。

店舗は、千葉・成田・木更津の 3 市を中心に 15 市 1 郡に 49 店舗を展開し、千葉県（一部を除く）と茨城県の一部からなる営業地域をカバーしています。

8. 取扱う業務とは

取扱業務ですが、銀行も、信用金庫も、基本的には変わりません。銀行の三大業務は、①預金業務、②融資業務、③為替業務です。為替業務には内国為替と外国為替があります。為替業務とは、振込や代金取立などになります。さらに、お客様のニーズにお応えするため、付随する業務もおこなっており、国債、投資信託、保険販売など、様々な業務があります。これらを取り扱うためには資格が必要です。例えば、債券や投資信託を取り扱うには証券外務員、生命保険は生命保険の販売資格、損害保険であれば損害保険の販売資格です。

9. 営業店が取り扱う業務について (店舗での仕事について)

営業店（店舗）が取り扱う業務ですが、先程説明した三大業務および付随業務となります。当金庫の営業店組織は、預金係、融資係、営業係（本店には外国為替係もあり）で構成されています。預金・融資係に

は、テラーや後方事務を担当する職員がいます。テラーとは、カウンター越しに直接お客様とやりとりをする人のことを言います。テラーよりも後方で、内部的な業務を行っている人を後方事務と言っています。預金係の仕事は、お客様の来店目的で変化します。普通預金や当座預金、定期預金のほか各種預金の入出金、公共料金の支払いや振り込み、各種サービス、投資信託、年金、保険等に関する提案などです。融資係の仕事は、融資相談、融資審査、経営相談などが主な仕事になります。

次に営業係です。営業係は定期的にお客様の自宅や会社に訪問し、預金に関する相談、資産形成や運用の相談、融資相談、経営に関する情報提供などを行います。個人渉外と融資渉外に分かれており、個人渉外は主に個人のお客さまを担当、融資渉外は主に法人のお客さまを担当しています。

10. 終わりに

地域社会は、人と人とのつながりで成り立っています。信用金庫は人と人とのつながりを大切にし、ともに豊かな地域社会を創造していくことを目指しています。そのため、対面コミュニケーション（フェーストゥフェイス）にこだわった営業活動を展開しています。

お客様とのコミュニケーションを通じてニーズや課題を把握し、資金や金融サービスを提供することで、夢の実現や課題解決のお手伝いをするものです。

地域や中小企業の皆さまと一緒に豊かな社会を築いていくことが、信用金庫の重要な使命ということになります。銀行との

大きな違いがこれです。

最後に、信用金庫共通のシンボルマークを紹介します。これは、「顔と顔」を表現しています。お客様と近い関係で寄り添っていくという思いが込められているわけです。



以上